

安藤圓秀 あしたひろ 漢文學者。明治十八年二月五日愛知縣碧海郡棚尾村
 生れ、昭和二十二年歿（八八—一九四）。號白水居、草堂主人。東京帝
 國大學文科大學支那文學科卒。松本高等學校教授、第一高等學校教授
 を經て、大正十四年東京帝大助教授、學生監となる。この間、孔子と
 その弟子の談話を、小説、戯曲、對話形式を用ゐて半ば創作した『孔
 子とその徒』（大正十一年一月十五日進堂）を著はす。

昭和二年東京帝國大學五十年史編纂に關し農學部關係事項の調査を委
 囑せられ、「駒場農學校・東京農林學校史料」四卷、「樹木試験場及
 東京山林學校編年記」、「樹木試験場及東京山林學校史料」上、中、
 下を編纂執筆。またその餘録『農學事始の—駒場雜話』（昭和二十一
 年一月二十五日雄山閣、再刊・三十九年十二月二十五日東京大學出版
 會）が書かれた。他に『詩經隨筆』（昭和二十二年九月五日學徒後援護
 會）等。

